

WSI通信 Vol. 1

NAGASAKI UNIVERSITY 2017. 8
Work Style Innovation

「長崎大学ワークスタイルイノベーション（WSI/働き方見直しプログラム）」は、ライフイベントおよびワークライフバランスに配慮した職場環境の実現を目指し、それぞれの業務・職場における課題改善にPDCAサイクルで取組むプログラムです。

「WSI通信」では、参加チームの取組の様子や、働き方見直しに役立つ情報・ツールなどをご紹介します（季刊予定）。

キックオフオリエンテーション

平成29年6月28日、文教キャンパスにて平成29年度のキックオフオリエンテーションを開催しました。これまで外部コンサルタントに委託していた「働き方見直しコンサルティング」ですが、今後もプログラムを継続して横展開を図るため、今年度より、ダイバーシティ推進センターに加え、主に各部局の総務・人事担当等から構成される「働き方見直し推進委員」（認定ワーク・ライフバランスコンサルタントの有資格者）による新体制の下で、プログラムを推進することとなりました。

オリエンテーションの冒頭、片峰茂学長は、「本プログラムの面白さはトップダウンではなく、身近な問題意識から地に足をついた取組を行って解決することにある」と語り、今年度の参加者にもぜひ自分たちの力で成果を生み出してほしいと激励しました。進行を務めた伊東昌子ダイバーシティ推進センター長は、現代日本の人口構造上、働き方を変える必要性があると強調した上で、過去参加チームが生み出した成果の数々について紹介しました。

その後、各チームは「自分達の素晴らしいところ」「よりよいチームになるには」について活発に意見を出し合い、このプログラムを通じて目指す自分達の理想像について議論しました。



今年度の参加チームをご紹介します

薬学部チーム

薬学部チームは、教員3名と大学院生3名で構成された研究者集団です。キックオフ時、早々にチームのゴールイメージ「**メンバー1人1人が成長し助け合える研究室に**」を決定し、その後もスピード感のある取組を展開し続けています。初回定例会では「効率的に業績をあげる」ための具体策について話し合いました。メンバーの1人（学生）に記録係を任せたり、発言を促したりと、学生の成長の場としても本プログラムを活用しています。朝メールを使った「コミュニケーションの定量化」にも取り組みます。ユニークな視点から、どのような成果が生まれるか楽しみです！



生活習慣病予防診療部・栄養管理室チーム



本学初、二つの部局の医師、看護師、栄養士による混成チームです。それぞれが専門領域のプロフェッショナル。初回定例会ではまず「チームとして取り組む意義」について確認するワークを行いました。ゴールイメージは、業務に関連付けた「**業務もダイエット～食事仕事もバランスよく～**」にすでに決めていましたが、目指す姿を丁寧に掘り下げたことで、より具体的な取組の方向性が見えてきたのではないかと思います。多忙で人数も多いので、取組を軌道に乗せるまでが頑張りどころです！持ち味である機動力の高さを生かしたインパクトのある取組を期待しています。

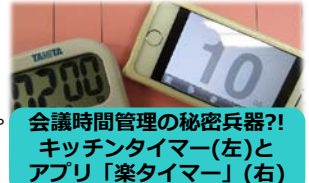
地域包括ケア教育センターチーム

地域包括チームは、教員・職員がほぼ半数ずつの構成です。事業推進を目的に設立されたため、ミッションが明確で、チームとしても非常にまとまっている印象です。事業最終年度に、より効率的な働き方ができればと「カエル会議」と「朝メール」を活用して、熱心に取り組んでいます。ゴールは「**人と人をつなぐための業務の見える化**」。現在は、共有フォルダの整理について、昨年度の参加チーム（病院総務課）のノウハウを参考にしながら議論を進めています。



ダイバーシティ推進センターチーム

これまで2年間プログラム事務局を務めてきたダイバーシティ推進センターですが、今年度はチームとして参加することになりました。目標は、自らが好事例を示すことで、組織のミッションである「本学教職員の多様なワークスタイルの実現」を推進しようとの思いから「**1up時間（成長時間）を活用して、ワークとライフの両立モデルになる！**」としました。過去参加チームの取組の情報・ノウハウを蓄積するセンターだからこそできる様々な見直し施策に、テンポよくチャレンジします！



会議時間管理の秘密兵器?!
キッチンタイマー(左)と
アプリ「楽タイマー」(右)

